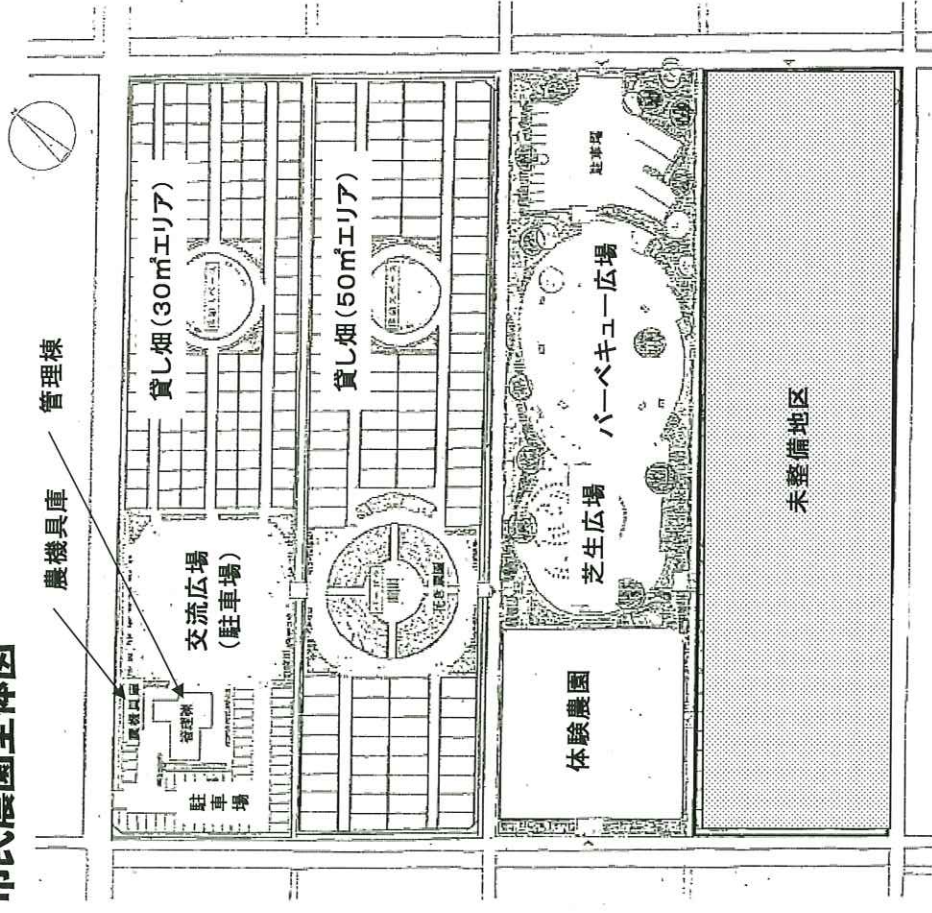


吉川市市民農園について

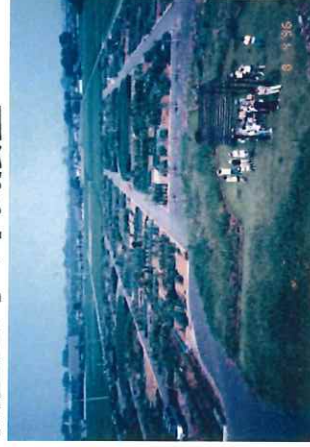
市民農園の概要

設置者	吉川市
名称	吉川市市民農園
所在地	吉川市大字上内川字沼端1605番地1
目的	快適で利便性の高い市民農園を提供し、農業理解への促進、相互交流による地域農業の活性化及び良好な都市環境の形成に資することを目的とする。
設置までの経緯	区域指定 平成 6年 8月30日 開設認定 平成 6年10月17日 開 園 平成 7年 6月 1日
敷 地	面積38,658㎡ ・市有地1,877㎡(3筆) ・借地36,781㎡(46筆)
区 画	30㎡ 116区画 (うちR2.7.31現在 99区画利用) ※年間使用料15,000円 50㎡ 105区画 (うちR2.7.31現在 75区画利用) ※年間使用料25,000円 利用期間 3年間 (現在の利用契約:令和元年度~3年度)
施設等	管理棟 〔 研修室 170.58㎡ (木造平屋建) 和室12畳、シャワー室、更衣室、男女トイレ、身体障がい者用トイレ等 〕
	農機具庫 77.84㎡ (木造2階建)
	駐車場 1,115㎡ 普通車45台 (うち身体障がい者用1台)
	交流広場(駐車場) 2,256㎡
農機具	体験農園 1,780㎡
	給水施設 10か所 (井戸)
	リヤカー、一輪車、くわ、スコップ、エンピ、レイキ、かま、マンノウ、ジョウロ、バケツ等 (すべて無料で貸出し)
開園時間	4月~9月 午前8時~午後5時30分 10月~3月 午前9時~午後4時30分 ※12月28日~1月4日は閉園期間
管 理	吉川市市民農園管理組合 (業務委託)

市民農園全体図



開園当時の市民農園



【参考：R1.12.21 開催 市長キャラバン資料】吉川市市民農園の再整備について

1. 市民農園再整備のコンセプトについて

『市内外の人々が地域や地域の人々と多様に関わることのできる交流拠点の形成。』

2. 市民農園再整備のイメージ案について

※ 2018年1月28日に実施した「市長キャラバン」において、参加者から出されたご意見やご要望等を基に、今回のイメージ案を作成しています。

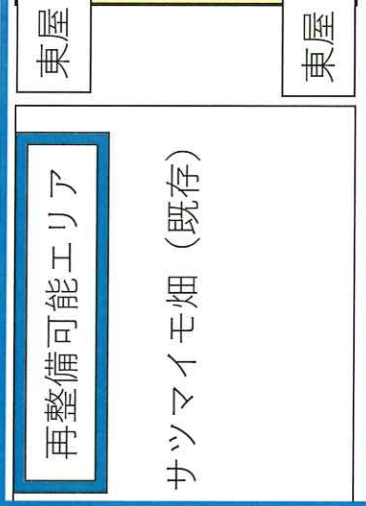
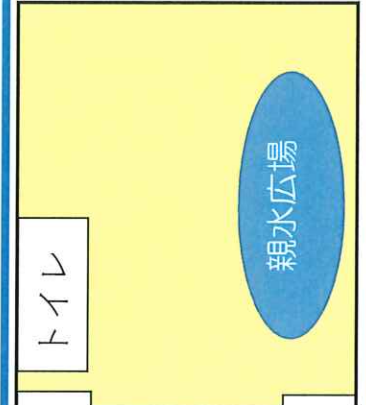
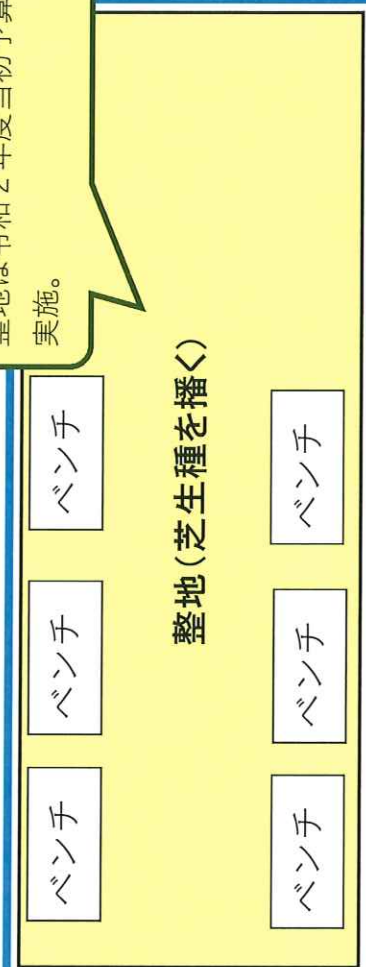
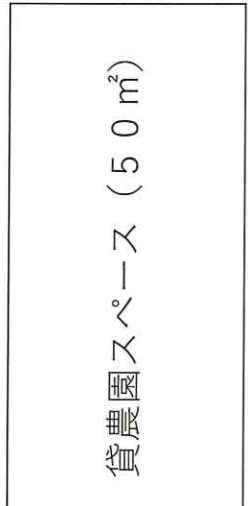
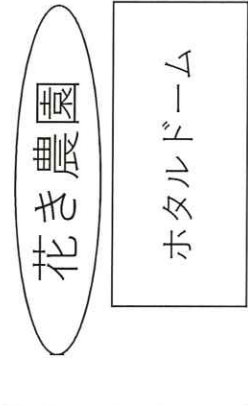
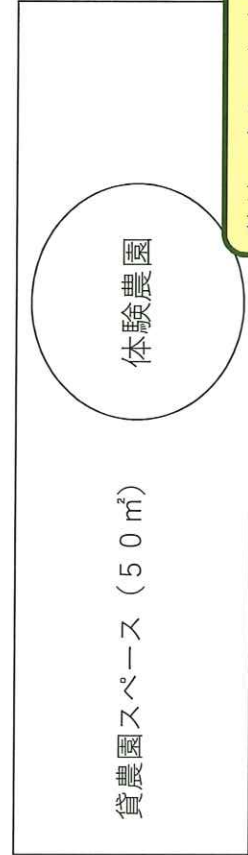
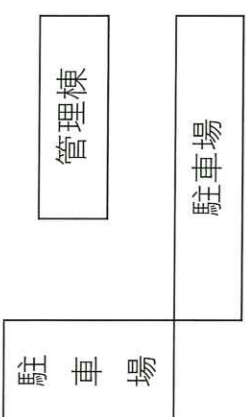
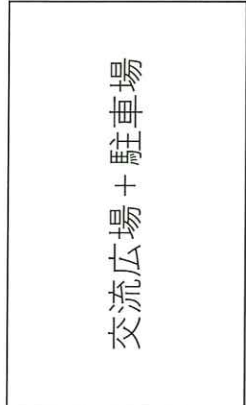
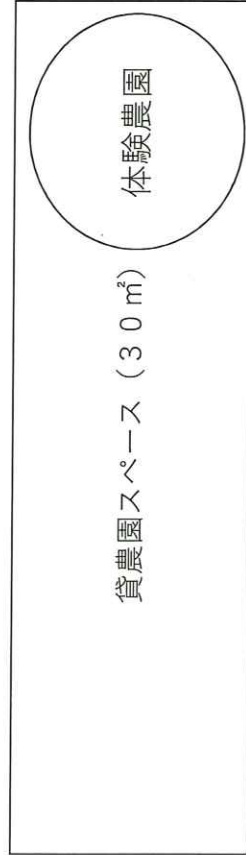
【前回の市長キャラバンで出された意見等と再整備イメージとの関係性】

意見等	再整備イメージ	備考
芝生広場にトイレや水道を設置して欲しい。	芝生広場にトイレを設置する。	
様々な人がプレー出来るようなグラウンドゴルフコースが欲しい。	既存の駐車場スペースに「多目的広場」を整備する。	グラウンドゴルフやドッグラン等を想定。
公園がない。		地域の「憩いの場」としての位置づけ。
高齢者等が集うカフェが欲しい。	休憩施設を設置する。	休憩施設の内容は検討中。 (農家カフェ、直売所等。)
既存の東屋以外にも休憩場所が欲しい。		
バーベキュー広場を整備すると、騒ぐ声等で農園利用者に影響が出る。未整備地区に再整備できないか。	バーベキュー広場は、未整備地区に移設する。	休憩施設と連動した整備。
再生エネルギーに取り組んでいる。農園内で活用できないか。	堆肥舎を設置する。	籾殻や農園の野菜くず等を活用する。
地域の人たちが集まる場所になって欲しい。	高台、親水広場を整備する。	旭地区の特徴である自然を満喫してもらうのが目的。

意見等	再整備イメージ	備考
市内外から人が集まるようなイベントをしたい。	現在も「ほたる鑑賞会」を始め、多くのイベントを実施中だが、既存の駐車スペースが限られているため、新たに駐車場を整備する。	
旭地区の魅力を高めて欲しい。	水耕栽培ハウスの建設。	協定を結んでいる千葉大学園芸学部と連携し、旭地区の農業活性化を目的とした取り組みとして整備。

吉川市市民農園再整備イメージ

整備済エリア



整地は令和2年度当初予算で実施。

出入口

出入口

